

仙台市、丸和運輸機関及びフクダ・アンド・パートナーズと当研究所の「仙台長町 FC を活用した企業防災等の推進に関する協定」の締結（2022/4/6）

テーマ：協定書、企業防災、産官学連携
場所：仙台長町未来共創センター（仙台市太白区）

4月6日（水）午後、当研究所は、仙台市、(株)丸和運輸機関及び(株)フクダ・アンド・パートナーズと、仙台長町未来共創センター（仙台長町FC）を活用した企業防災等の推進に関する協定を締結しました。仙台長町FC（所在地：仙台市太白区郡山6-7-21）は、非常時には地域防災施設となり、平常時には企業防災等の発信拠点となる、高い防災機能を備えた5階建てのビルです。調印式は、仙台市の郡和子市長、丸和運輸機関の和佐見勝社長、フクダ・アンド・パートナーズの福田哲也社長、そして当研究所の今村文彦所長・教授（津波工学研究分野）が出席して、仙台長町FCのオープニングセレモニーの中で行われました。なお、調印式での協定趣旨の説明は、丸谷浩明副所長・教授（防災社会推進部門）が担当しました。

この協定は、参加4主体が、仙台長町未来共創センターを活用し、それぞれが有する災害科学の知見並びに災害予防、災害復旧及び災害復興の技術及び経験の活用を図りながら、相互に協力し、地域における企業防災及び事業継続、震災の教訓及び伝承の活用などの推進に寄与することを目的とするものです。

協定を締結した4主体が連携・協力する項目としては、

- (1) 仙台長町FCを活用した地域における企業防災及び事業継続の推進並びに防災教育及び人材育成の推進
- (2) 仙台長町FCにおける大規模災害時の一時滞在場所の提供及び応急救済に係る活動協力
- (3) 仙台長町FCにおける防災設備活用の推進
- (4) 仙台長町FCを拠点とした東日本大震災からの復興の推進並びに同震災の教訓及び伝承の活用推進
- (5) 災害が発生した場合における支援物資輸送の推進
- (6) 以上のほか、災害科学の知見並びに災害予防、災害復旧及び災害復興の技術及び経験の共有
- (7) その他、本協定の目的遂行上必要な事項

となっています。

本件協定に至る経緯は、まず、フクダ・アンド・パートナーズの“仙台に自社の首都直下地震等に備えたバックアップ拠点を設け、そのビルで防災の地域に貢献する”という構想を、丸谷研究室が相談を受け、東日本大震災の企業防災の教訓発信をするアイデアを提案し、共同研究契約を締結しました。続いて同社は、仙台市からの太陽光発電等への補助、仙台市の帰宅困難者の一時滞在場所の指定などの協議を行いました。一方、丸和運輸機関は、丸谷研究室と2019年から共同研究契約を締結しており、仙台市と災害時の物資支援協定の締結を目指した協議も行ってきました。さらに、同社の連結子会社である(株)東北丸和ロジスティクスを仙台長町FCの3階に移転させ、また2階を賃貸し各主体と連携してイベントスペースや備蓄倉庫として活用することとなり、本協定に参加する4主体による仙台長町FCを活用した連携体制が生まれたものです。



仙台長町 FC の外観



協定締結式



災害研が提供した震災教訓資料



仙台長町 FC のオープニングセレモニー